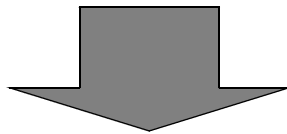


平成27年度
三好高等学校：「学力向上実行プラン」（概要版）

＜本年度の重点目標＞

- ① すべての学力の基礎となる「読み・書き」「計算」の力を高める。
- ② 基礎学力を向上させることで、自ら判断し行動する力を育成する。
- ③ 学校生活を通して、継続して学習する習慣を身につけさせる。



目標実現のために

校内独自の漢字検定

数学の学び直しトレーニング
(マナトレ)

生徒が主体的に参加する授業
(授業改善)

授業の欠課時数の減少

＜具体的方策＞

1. 校内漢字検定

- ・火曜の帰りのホームルーム時に10分間漢字検定の学習を行わせる。
- ・学校全体で校内漢字検定学習に取り組む。
- ・練習プリント等教材を工夫する。
- ・漢字検定学習の意義を生徒に理解させる。

2. マナトレ

- ・木曜の朝のホームルーム後 25 分間，担任を中心に各ホームルーム 2～3名の教員でマナトレの指導を行う。例題の解き方などを全体に示しながら個別指導にあたる。
- ・学校全体でマナトレに取り組む。
- ・各学期ごとに確認テストを行い，到達度を確認する。
- ・長期休業中に復習課題をさせる。

3. 生徒が主体的に参加する授業へむけて（授業改善）

- ・生徒の実態や教科の特性に応じてアクティブラーニングの手法を取り入れる。
- ・授業は原則公開とし，効果的な授業方法や教材についての情報を学校全体で共有する。
- ・教科・ホームルーム担任連絡会を年 1 回以上実施し，個々の生徒の特性とその効果的な授業方法について共通理解を図る。また授業力向上に関する研修・特別支援教育に関する研修を年 1 回以上行う。
- ・出張の精選・可能な限りの授業振替を行い，授業時数を確保する。
- ・落ち着いて授業に取り組めるように教室環境を整える。
- ・生徒アンケートの結果を参考に授業を改善する。
- ・学習内容と実生活の関連（1，2年生）・進路との関連（3年生）を生徒に意識させ，授業への関心を持たせ，やる気を起こさせる。

4. 授業の欠課時数の減少

- ・長期休業中に生活記録をつけさせ，生活リズムが崩れないようにする。
- ・生徒指導課と連携し，遅刻が多い生徒に対して改善指導を行う。
- ・授業の欠課における補講は，可能な限り学校で実施する。
- ・担任の面談や学級通信，全校集会時の講話等を通じて，学校を休まないことの大切さ，継続して学習することの大切さを啓発する。
- ・課題テストを実施する。その際，生徒が主体的に取り組めるように事前指導・事後指導を行う。